

# 「環境教育活動3A」（生方ゼミ）の紹介

「環境教育活動3A」は釧路校地域教育開発専攻「自然と環境教育」研究室のゼミ生対象の実践的な授業科目です。2011年度は鶴居村をフィールドに社会系フィールドワークと自然系フィールドワークを各1回実施しました。

社会系フィールドワークでは各受講学生が課題を設定し、質問事項をとりまとめたうえで、訪問先へのアポイントメントをとり、インタビューを実施しました。

自然系では上流に農地が広がる小河川と、上流が主に森林である小河川で水生昆虫を採集し、流速や水深などを計測しました。川の近くの草地や道端でも昆虫を採集し、標本は研究室に持ち帰って同定し、社会系インタビューの結果と合わせて総合討論およびレポート作成を行いました。以下は、その様子です。 (生方 秀紀)

## (1) 社会系フィールドワーク



左、右：牧場経営者夫妻から経営の工夫や将来展望の話听取了。



左：牧場でポニーに見送られているところ。

右：地元食材・スローフードで消費者の支持を得ているカフェレストランでのインタビュー。  
そのあとは心のこもった料理を堪能しました。

<次頁へ続く>

## 社会系フィールドワークの続き...



左：永い間タンチョウの保護活動（冬季給餌）を勤めてこられた渡辺さんへのインタビュー。若い学生も渡辺さんから元気ももらいました。  
右：鶴居村役場で農業、林業、観光、環境保全などの施策についてインタビュー中の学生。担当の方から丁寧な説明をいただきました。

## (2) 自然系フィールドワーク



左：河川の水生昆虫の採集。安全には十分留意して実施します。  
右：土砂や植物片からの昆虫の選別とサンプル瓶への収容。根気のいる作業です。



左：草地・路傍での昆虫採集の合間に。  
右：採集した昆虫の展翅と同定。正確な同定は昆虫による環境評価には不可欠です。